

はじめに

近年、我々の社会は、情報化、高齢化、国際化、高度科学技術化などが進むことによって大きな変貌を遂げており、この社会で生きる人々には、変化した社会に対応し、主体的に関わっていくことが必要とされています。このような社会の要求に応えるためには、社会で生きる人々が幅広い分野について継続的に学習し、自己を磨くことが必須となります。事実、社会における学習ニーズは高まってきており、このニーズに対応するための体系的な学習機会を開発し提供することも重要な課題として提起されるようになりました。そこで、滋賀県では、情報、産業、科学技術、文化などの様々な分野において高いレベルの知識や技術の習得が出来る機会の提供を目指して、平成7年度に「淡海生涯カレッジ」の開発に着手しました。そして1年の開発期間を経て、平成8年度に「淡海生涯カレッジ琵琶湖学習コース」が滋賀県大津市に開設されました。この淡海生涯カレッジは、平成9年度から、県内各地で新たに開校されるようになり、平成27年度現在、5校のカレッジ（大津校、草津校、甲賀校、彦根校、長浜校）が設置され、様々な分野における体系的な学習機会を皆様に提供しています。

淡海生涯カレッジは、各校ごとに取り上げているテーマが異なるというのが特徴です。例えば、平成27年度においては、大津校では環境を、草津校では環境文化の創造を、甲賀校では郷土の知恵と技を、彦根校では歴史、文化、健康を、そして長浜校ではバイオテクノロジーを中心としたテーマでそれぞれ学習の機会を提供しております。この様に取り上げているテーマは各校で異なりますが、その体系化された教育システムは共通であり、問題発見講座で実際に問題を見て、感じて、学んだ後、高等学校などでの実験・実習講座で実際に実験や体験を行うことでより問題を具体化し、そしてこの問題点の理論を大学等で開催される理論学習講座で学ぶというシステムになっております。さらに、淡海生涯カレッジの修了後には社会活動への参加を応援するシステムが存在しており、学んだことを社会で生かしたいという受講生の願いにも対応しております。この様に、地域の特性を生かした継続的で段階的な生涯学習講座は全国でも珍しく、高く評価されています。淡海生涯カレッジが20年ものあいだ続けてこられ、大きく発展してきたことは、淡海生涯カレッジ開校と運営にお力をお貸しいただいた皆様と、なにより本講座を愛していただいた受講生のおかげであります。

淡海生涯カレッジは、今後、社会の変貌に対応して、その姿を柔軟に変化させる必要があるでしょう。しかし、淡海生涯カレッジが今度どのような変化を遂げようとも、この20年間で培った淡海生涯カレッジの財産は必ず活用されると信じております。淡海生涯カレッジの20年の歩みをまとめた本冊子が、今後の淡海生涯カレッジの発展と、様々な分野を継続して学ぼうという皆様の高い意欲を具現化することの一助になれば幸いと存じます。

平成28年2月

淡海生涯カレッジ専門委員会議座長
長浜バイオ大学 蔡 晃植